

# 茂原市立東部小学校PTA

学校・家庭・地域が連携した幅広い実践！

## 特徴的な活動について

### ○「おやじの会」の組織化

(高木剪定 樹木伐採 カブトムシ幼虫飼育所製作)

### ○PTAによる創立40周年記念事業の実施

(式典の企画・運営 記念誌発行)

### ○広報誌を学区内全戸に紹介

(学校の様子を紹介・地域の安全面の啓発)

### ○学区安全対策の実施

(安全マップ作成 ポスター・看板による危険箇所周知  
巡回パトロールの実施)

### ○地域のお年寄りとの交流等の実施

(社会福祉協議会と連携したお年寄りへの菊のプレゼント  
茂原市民会議と連携したおもちゃづくり・親子レク)

所在地:千葉県茂原市 PTA設立:昭和50年

地域の特徴:地域一体となった学校の活動への支援

学校の特徴:地域と密着した円滑な教育活動を展開

全校児童数:552人(PTA会員数444人)

## 成果と課題

○「おやじの会」の活動がきっかけとなり、  
父親のPTA活動参加が増加した。

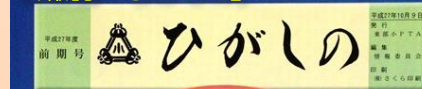
○広報誌紹介や交流行事をとおして地域と  
の連携を深めている。

○計画性・継続性のある体制づくりを進めたい。

創立40周年記念式典



広報誌「ひがしの」



# 多摩川の学び舎 世田谷区立 二子玉川小学校PTA

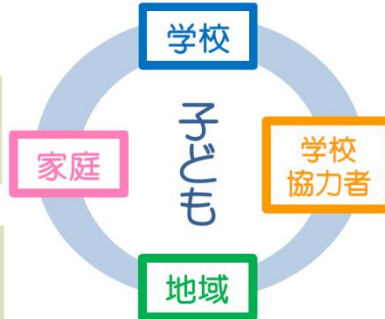
～できる時に、できる人が、できる分だけ。無理なく楽しくできるPTA活動の実現を目指して～

**学校の特徴** 「学校・家庭・地域が協働して育む地域の子」  
コミュニティ・スクール「二子玉川」

『やさしい心、豊かな心、すくすく育て！二子の子』を学校のスローガンに、学校・家庭・地域学校協力者が協働して、「共につくる二子玉川小学校の教育」の実現を目指しています。

## 研究活動 21世紀型の学びのデザインを求めて

28年度はグループ小中学校(多摩川の学び舎)とともに区の研究発表会を、29年度は全国小学校理科研究大会の授業研究会場として研究活動を進めています。



**地域の特徴** 水と緑と光があふれる街 二子玉川

自然(多摩川・野川の水辺、国分寺産線沿いの緑)に囲まれた地域に、駅を中心にして西側に古からの商店街や住宅地、東側に新たに開発された近代的な大型複合商業施設や高層住宅が広がっています。それらが一体となって調和のとれた発展、魅力ある街作りをめざしています。『地域で子どもを育てる』意識が高く、子どもたちの多種多様な体験活動が、地域企業や町会・商店街、地域関係団体の協力によって行われています。

**所在地** 東京都世田谷区玉川 **児童数** 677名 21学級

## 特徴的な活動①～誰もが参加しやすいPTAを目指した活動

委員会活動に準ずる組織として、期間や活動内容を限定した「プランナー制」を導入しています。また、自身のライフスタイルに合わせて「できるときに活動ができる」よう、学年クラスに関係なく全保護者を対象とした公募会を毎年開催、100名以上の希望者が集まり委員を選出しています。すべて自薦(立候補)による選出で、選ばれた委員は



▲公募会のような



▲PTA総会の後 恒例のお楽しみ

みんな明るく楽しい活動ができ、夢や希望があふれるプランがたくさん生まれています！委員会に属さない会員は「Pサポ」として、負担感なくできる短時間の活動(サポート)に参加しています。

## 特徴的な活動③～地域や有識者との連携による交通安全活動

地域町会を中心に有識者(日本大学理工学部交通システム工学科助教稲垣具志先生)と校外委員会が連携し、本学周辺地域全体の車両の制限速度を時速30kmに指定する「ゾーン30」の制定に協力。活動は、稲垣助教論文『生活道路における子どもの横断判断特性に関する実験的考察』にまとめられています。交通安全活動の功績に対して27年度には警視庁玉川警察署より、28年度には警視庁より感謝状をいただきました。現在はさらに町会と連携した自転車の乗り方キャンペーンに取り組んでいます。



▲「チビニコレンジャー」の活動



▲警視庁からの感謝状



▲PTAの協力 3年生自転車教室

## 特徴的な活動② ～子どもたちのために！ 保護者と先生との連携



単位PTA研修のありかたを検討し、保護者と先生が連携した研修会を具現化しました。27年度は「教わる」から「自ら学ぶ」をテーマに、岩辺泰史先生を講師として公開授業を行い、先生と保護者が一緒に参観し、授業を経験しました。今年度は「最高のクラスのつくりかた」をテーマに、保護者や先生からとったアンケートをもとに、よりよい学級経営について共に考え、岩瀬直樹先生を講師に招いて研修会を行い、共に学び合います。



平成27年度単P研修会案内状▲

## バラエティに富んだ行事・イベントへ、楽しみながら協力

子どもたちや学校・保護者のために、PTA単独ではなく、その他関連団体と協力して活動しているイベントが数多くあります。在校生保護者のみならず、卒業生の保護者も引き続きPTA活動に関わることで数多くのイベントが開催され、多くの子どもたちが参加しています。



元PTA会員を中心に組織された学校支援組織「ふたこのよいこサポート隊」によるイベント「フラッグに絵を描こう」の様子。フラッグは二子玉川商店街に飾られます。

## 成果と課題

- 25年度に、大きな「PTA活動の見直し」を行い、委員会の再編成や前述の「プランナー制度」の導入など、活動しやすく風通しのよいPTAを実現しました。
- PTA役員会では会長1名のもと、副会長を2名から5名に増やし、会計、書記を各2名配置し、より仕事の相談や分担がしやすくなりました。
- 今後、仕事に就く母親が益々増える中、PTA活動への父親の参画や、働く母親も参加しやすくするなど、さらなる活動環境づくりの工夫が課題です。

# 横浜市立つづきの丘小学校PTA

所在地：横浜市都筑区荏田東1-22-1／全校児童数：419名



## 「子どもに生きる力を育む学校」

### 学校の特徴

◆豊かな関わりを通して児童に貴重な体験と繋がりの機会を提供している。

### 地域の特徴

◆連合自治会と学校・PTAで協力しあえる体制を強化している。

## 活動内容

### 特徴的な活動

### 地域との連携

**運営委員会**  
 本部役員・常置委員会を分けずに役員・学年学級委員会・校外安全委員会・広報委員会の正副委員長と教員でPTA運営委員会を構成している。その為、報告連絡相談を密に行うことができ、各委員会や会員の意見を反映しやすい組織作りに務め、教員・保護者の連携を円滑に行い共通理解を示した活動を展開している。

**校外安全委員会**  
 年間のパトロール表を作成し、巡回活動と清掃活動を全保護者で実施。登下校、下校後も子ども達の安全見守りと地域犯罪の抑制に繋げている。

**生きる力を育む取組**

- 給食試食会
- 親子料理教室
- 理科実験教室
- 各種講演会



**WAKUWAKU 「夏」土曜イベント**  
 学校・PTA・学援隊・地域など多方面の協力により様々な講習と体験をした。

- ・AED人工呼吸体験
- ・防災消火体験
- ・ラジオ体操講習会
- ・キャリア教育
- ・ドッジビー
- ・ナインボール



**WAKUWAKU 「冬」土曜イベント**  
 毎年、情操教育の一環として本物に触れるイベントを実施し視覚・聴覚・感覚全てに感動を与えられる文化交流の場となっている。

- ・クリスマスライブ
- ・シャボン玉ショー
- ・男性四部合唱

○中学校ブロックの小中学校4校で情報の交換と共有をし、協力強化につなげている。共通のスローガン（右上参照）を作成し、より良い活動をめざしている。

○連合自治会と各々の行事で協力し合う。

○地域交流の一つとしてラジオ体操の普及促進に取り組んでいる。



**地下道壁画**  
 スクールゾーン防犯対策協議会が主体となり、県立新栄高等学校生徒の協力で防犯対策として「中の瀬地下道」の壁画制作を行っている。

**成果**・・・土曜活用授業に位置付けた学援隊が主体となる取組みの「WAKUWAKU土曜イベント」により学校・子ども・PTA・地域での交流と連携が深まり、学援隊の保護者が先生となるキャリア教育は好評を博し様々な事を学ぶ良い機会となった。

PTA運営委員会・学年学級委員会・校外安全委員会が主催の催しや地域とのイベントは生きる力を育み心身の向上が図られる成果をあげた。広報紙「つづきの風」は町内回覧し地域と区内全小中学校に配布、周知活動や情報発信、取組みや構成などが高く評価されている。

**課題**・・・仕事を持った会員が増えてきている為、参加のしやすい活動を重視しながら、会員が各自の都合に合わせて行える委員活動形態の工夫を求められている。

# 新潟市立沼垂小学校PTA

所在地:新潟県新潟市 / 全校児童数: 413名

## 学校・家庭・地域が連携した体験活動の実施！

### 学校の特徴

創立144年。平成27年度に校舎大改築を終え、広大な敷地に緑豊かな樹木の環境を有する。学級数18、教職員数37名。

### 地域の特徴

政令市の中央に位置し、昔ながらの町並みを有する。近年、「沼垂テラス」等、地域の再開発で活気があり、「沼垂まつり」等の地域伝統行事も盛ん。

### 活動内容

#### 特徴的な活動

#### 活動を支える人的・物的環境

##### ○理念が一貫した人的環境の充実

当校校区内の地域では、歴代PTA役員経験者が地域コミュニティ協議会や青少年育成協議会、民生委員児童委員協議会等の要職に就いている。そのため、地域内の様々な組織の役員が学校事情に精通し、「子どものために」という想いも人一倍強い。そのような方々が学校・PTAの応援団となることで、子どもを育む人的環境が充実している。

##### ○伝統と再生が息づく物的環境の充実

当地域には伝統行事だけでなく、古くからある市場通りの再生をはじめとした地域を活性化しようとするイベントが多く開かれている。PTA活動のスローガン「育てよう豊かな体験」のもと、行事・イベントを子どもの育成の場と位置付けることで、地域における様々な行事・イベント等の物的環境も整っている。

#### 夏の親子キャンプ・冬のスキー

##### 【開催時期】8月・2月

夏休みの思い出づくりとして、6学年の学年行事として実施されていた親子キャンプを全学年対象として実施している。



冬は、雪国新潟でありながらスキー体験を積めない子どもに場を提供するため、平成5年からスキー教室を開いている。企画・運営をPTA常任委員が担当し、一泊二日の日程となっている。PTAのOBもボランティアとして大勢参加することで縦糸となり、行事が次の世代へと確実に受け継がれている。



#### ○地域行事とのコラボレーションによる体験の場

桜が満開を迎える4月の第2日曜日に、地域コミュニティ協議会主催の「さくらまつり」が開催される。整備された学校校庭の特設ステージで、



当校クラブ「万代太鼓（鼓助）」「器楽（バンビ）」がオープニングを飾り、各団体の歌や踊りの発表が行われ、地域に居住する様々な方が出店を開いている。

6学年児童も総合的な学習の時間で学んだ成果を地域の方々へ発表している。

8月16日には校区の伝統行事「沼垂まつり」が開催される。PTAでは、子どもの山車を制作する活動を年間行事に位置付け、山車を制作しない自治会に居住する子どもにも、祭りの楽しさを体験できる場を提供している。



#### ○その他の活動

餅つき大会、新潟まつり大民謡流し参加、ふれあいスクール事業、ピオトープ保護など



#### 成果

- ・地域コミュニティ協議会をはじめ様々な地域の要職に歴代PTA役員が就き、代々受け継がれることで、地域と小学校PTAの関係が深まり、「地域で子どもを育てる」気運が浸透している。
- ・地域のイベントを小学校で実施することで、子どもから大人まで、みんなで交流・活動する場所として学校の認知度が高まり、地域活性化の拠点の一つとして成り立っている。

#### 課題

- ・夏の親子キャンプや冬のスキー教室に参加を希望する子ども・保護者の人数が増えている。宿泊施設の収容と交通手段の関係から希望者すべての要望に応えることができていない。
- ・人的資源のネットワーク化をさらに広げていく必要がある。

# 高岡市立戸出東部小学校PTA

所在地: 富山県高岡市戸出大清水33番地 / 全校児童数: 254名

## 学校・家庭・地域を結ぶ懸け橋に

### 学校の特徴

戸出小学校と北般若小学校が統合して創立された学校は2つの地区の融合の象徴である。平成22年に新築された新校舎は、吹き抜けのメディアホールをはじめとして、全校児童の自慢である。学校を思う気持ちは平成27年度の創校50周年を機に更に強まったといえる。

### 地域の特徴

「高岡といで菜の花フェスティバル」「戸出七夕まつり」「戸出地区文化祭」等、地域の活性化に力を入れている。戸出西部小学校、戸出中学校とともに活動する場、地域に学ぶ場を提供している。

### 活動内容

「すべては子供たちのために」を合い言葉に、心身ともに健康で、豊かな創造力と人をいたわる優しい心をもてる教育環境づくりに努める。

## 特徴的な活動

<郷土を愛し、豊かな心を育む取組について>

### ○運動会における「親子DE戸出音頭」

運動会のプログラムに地域の民舞を加え、親子、地域の方が一緒に輪になって踊っている。



### ○親子の集いの実施

学年毎に親子活動を行っている。近隣にある工場の見学、消防署見学、ドッジボール大会等、学年の発達の段階に応じた活動を企画・運営している。

### ○地区小・中学校合同での活動

七夕まつりの期間、戸出地区3つの小・中学校PTAと協力して防犯パトロールを実施している。また、中学校の定期試験に合わせて3校一斉に「ノーテレビ、ノーゲーム週間」を実施し、家庭学習に取り組みさせている。

## 3年親子の集い【ネイチャーゲーム】 共催 北般若公民館

### 【開催時期】

緑の濃淡と、多様な草花が見られる  
6月に開催。



### 工夫している点

- ・近隣のオフィスパークを活動場所とし、親子で気軽に参加できるようにしている。
- ・公民館と連携して行うことにより、地域の教育資源を生かした活動を展開している。
- ・専門の講師を招くことにより、何気なく見ていた郷土の自然のよさを再発見している。
- ・自然に触れる活動、自然のものを使っての作品作り等、多様な活動を組み入れている。

### ○教育環境づくり

地域にも働きかけて、資源回収やベルマーク収集、学習発表会でのバザー等を行い、その収益を芸能鑑賞会の開催や教育機器・設備の充実の補助にあてている。

### ○給食試食会

給食の様子を参観した後、試食をしながら学校栄養職員による「食育」の説明を聞き、食への関心を高めている。

### ○子供の見守りの強化

当番制を組み、主要交差点では毎朝、地区の危険箇所では毎月1日、15日に交通安全指導を、地域の見守りボランティアと協力して実施している。

### ○その他の活動

- ・1年交通安全教室
- ・4年自転車教室
- ・救急救命講習
- ・夏季休業中のプール監視
- ・長期休業中の親子読書
- ・スキー学習インストラクター

## 成果

- ・行事を多面的に意味付け、地域、関係団体等とつなげることにより、多方面からの協力が得られるとともに協働の意識が高まった。
- ・PTA活動を通して、保護者自身が地域を知り、地域で学ぶことができた。また、それを楽しいと思えるようになってきた。
- ・地区小・中学校が連携・協力することにより、相互の情報交換や交流機会が増え、より長期的・広範囲の活動を計画できるようになっている。

## 課題

- ・児童数の減少に伴い、従来通りのPTA活動の継続は、役員の負担感につながっている。会員数に応じた組織で、行事や活動の見直しを図りながら、学校・家庭・地域の効果的な連携を考えていきたい。

# 内灘町立大根布小学校PTA

広げよう、明るくあいさつ 家庭から

所在地:石川県河北郡内灘町大根布6丁目2番地 / 全校児童数:569人

## 学校の特徴

明るく元気な児童が多く、学校教育目標「心豊かで主体的にたくましく生きる児童の育成」を目指し、地域に愛される学校づくりに励んでいる。明治6年創立。新興住宅地の白帆台地区は、年々人口が増加しており、平成30年度には、大根布小学校と分離して新たに白帆台小学校が開校する。

## 地域の特徴

石川県のほぼ中央に位置する内灘町にあり、日本海、河北潟、権現森などの自然環境に恵まれている。

## 活動内容

### 特徴的な活動

#### ○学校・PTA・地域が一体となった安全対策・挨拶運動

校区内の各地区では「愛のたすきリレー」(年間を通しての挨拶・見守り活動・・・たすき・日誌等をリレー形式で次の当番に送る取組)を通して、防犯ボランティア隊と共に、児童の安全指導と挨拶の声かけを行っている。



#### ○町PTA連合会との連携による家庭教育支援

子供たちの生活習慣の改善、家庭における「家族の時間」を改めて考えるきっかけとして、「家族でノーメディアデー」の取組を進めている。取組後のアンケートでは、会話やお手伝いなど家族としての関わりが増え、有意義な時間を過ごせたという、肯定的な意見や感想が多く寄せられている。

## 成果

- ・地域と連携した挨拶運動や、地域行事への参加により、多くの目で子供たちを見守ることができており、児童の健全育成や地域の安全につながっている。
- ・ノーメディアデーの取組を、学校だより・配信メール等で事前に周知することで、取組率が向上し、効果が上がってきている。

## 課題

- ・保護者に提供するさまざまな活動や学びの場の工夫
- ・新設白帆台小学校との分離に伴うPTA組織作り
- ・高齢化による地域の見守りボランティアの減少

#### ○地域住民と連携した取組

##### ◇町の行事「世界の凧の祭典」への参加◇

地域の「凧の会」の協力により、地域行事・地域文化の継承・振興を図ることを目的としている。



#### ○親子参加型事業の推進

各学年の親子レクリエーションや専門部主催の「さわやかティータイム」では地域等の人材を講師に迎え、運動や科学教室、百人一首などを通して親子のふれあいを大切にしている。



# 福井市明倫中学校PTA

所在地: 福井県福井市木田1丁目1360番地 / 全校生徒数: 732名

## Open your heart

## ～ 笑顔でつなぐネットワーク ～

### 学校の特徴

昭和22年に創立。「福井市立第一中学校」から昭和24年に「福井市明倫中学校」と改称。「明倫」という校名は、「孟子曰学則三代共之。皆所以明人倫也。」に拠る。校区3つの小学校との連携を密にし、重点テーマ「表現力・コミュニケーション力の育成」の推進をしている。

### 地域の特徴

福井市の中心部、足羽川のほとりに位置し、交通の利便性が高く、商業施設や住宅地が開発されている市有数の人口を抱える地区。文化的・歴史的遺産が数多く残されている。社会教育など、地域に根ざした活動が盛んで、地域住民の教育に対する関心も高く、学校教育にも協力的な地区。

### 活動内容

○地域が一体となった登下校の安全を見守る活動 ○中学生を地域全体で育む体制づくり ○インターネットの正しい利用の仕方と家庭でのルール遵守の啓蒙 ○生徒の安全・環境を守る地域連携活動

### 特徴的な活動

#### みんなで守ろうネットワーク作戦

○地域が一体となった登下校の安全を見守る活動  
PTAが登下校時の見守り活動への協力を地域に依頼し、不審者事案発生からわずかに1ヶ月で、130名の協力者を確保した。公民館の協力を得て回覧板での呼びかけも実施した。現在の登録者約400名が、生徒にもわかるように、スクールカラーの青色のタオルを身につけて活動している。  
(青タオル運動)

#### ○青パト見守り活動の展開

不審者を封じ込める次の一手として、自家用車に青色回転灯をつけた「青色防犯パトロール隊」を編成した。2～3台でシフトを組み、毎日巡回して防犯を強化している。



### 成果

- ・青タオル運動や青パト見守り活動の実施、ならびに安全マップの作成をとおして「登下校の安全を見守る活動」の協力体制を強化する仕組みが整備された。
- ・地域行事に中学生が参加することで、地域の活性化と信頼関係の構築につながった。みんなで交流・活動する機会をとおして地域に笑顔が生まれ、住民同士のつながりが深められた。
- ・「明倫中to22宣言」での家庭のネット利用のルールの提案とSNS講習会の実施は、ネットの危険から子どもたちを守るために保護者ができることを再確認できる機会となった。

\*\*PTA広報「明倫 第91号」掲載\*\*

**「to22宣言」とは?**  
子ども達がインターネットに繋がれたいように、携帯電話やパソコンでのインターネット利用を22時(午後10時)までにすることを、全家庭に呼びかける運動です。

- ◆ ネットは22時までには見ます
- ◆ 22時以降は携帯をリビングの充電棚に置きます
- ◆ 緊急の連絡は家の電話にかかけよう

**SNSとは?**  
人とのつながりを記録・サポートする、コミュニティ型の会員サービス。あるいはサービスを提供するWebサイトのこと。代表的なものはLINE、Facebook、Twitterなど。

スマートフォンやタブレット等の普及によりコミュニケーションツールの一つとなったSNS、簡単に連絡が取りあえる等便利な反面、ニュースでも取り上げられるようなマイナスの面もあり、その使い方が問われています。

明倫中では今年度、PTAの重点活動として「to22宣言」を実施し、マナーを守ったネット利用しようという運動を行っています。

活動を始めて1ヶ月、「to22宣言の成果は?」「明倫生のSNS利用率は?」ということで、11月に生徒、保護者の方へアンケートを実施しました。果たして、今時の明倫生の実態とは……?

「明倫中to22宣言」(ネットは22時まで)のルールを提案し、学校と連携してルール遵守を図った。小学校のPTAにも参加を呼びかけたSNS講習会も開催し、保護者の認識を深めた。

\*SNS講習会\*

#### 中学生の地域行事参加支援

公民館行事や地域興しの行事運営に参加する生徒の指導や作品づくりへの支援補助を、積極的に実施している。PTAが主体的に地域の行事に参加する姿が、生徒にも反映し、地域との協働を通じた信頼関係の構築につながっている。



\*\*公民館のイルミネーション装飾\*\*



\*\*公民館祭りの遊びコーナーの運営\*\*

\*\*公民館祭りの食品販売補助\*\*

### 課題

- ◇ ネットワークの維持・向上
- ◇ 地域・家庭への情報発信の継続
- ◇ 会員一人一人を支え、意識の高揚を図る活動推進のための協働の強化
- ◇ 地域の活性化により貢献する活動の充実